

# 第1章 調査の概要

## 「参考資料」

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、市民の教育や生涯学習、文化・スポーツ（レクリエーション含む）活動などに対する意識を把握し、平成31年度からスタートする「松原市教育振興基本計画（後期計画）」の策定資料とすることを目的に実施しました。

#### (2) 調査の対象

平成30年4月1日現在、満18歳以上の市民1,000人を無作為に抽出

#### (3) 調査方法

郵送による配布・回収

#### (4) 調査時期

平成30年6月1日～平成30年6月22日

#### (5) 調査の配布数と回収数

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,000	434	433	43.3%

#### (6) 報告書の留意点・見方

- 図表中の「n」とは、集計対象者実数（回答者数）をさしています。
- 「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を表しています。
- 図表の数値（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた設問では、比率の合計が100.0%を超えます。
- 「その他」が選択肢に入っている設問のところでは、具体的に記載された「その他」の内容を表で整理していますが、無記入の場合もあることから、「その他」の回答数（n）と表中の件数が一致しない場合があります。

## 2. 調査結果の概要

今回実施した「松原市教育振興基本計画策定のための市民意識調査」から、学校園教育、家庭及び地域での教育、生涯学習・文化・スポーツなどの活動の調査結果の概要について、以下のよう

### (1) 学校園教育について

本市の就学前教育、学校教育における取組みの評価としては、「保育所・幼稚園・小学校・中学校において子どもの健康管理ができています」が最も高く、「学校給食は、栄養バランスがとれ、食物アレルギーに配慮した安心・安全でおいしい給食が提供されている」「(全般)松原市の就学前教育・保育、学校教育は充実している」が続いています。

また、市が力を入れる必要があると思う(「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計)教育施策や教育事業として、「いじめや不登校の未然防止に関する生徒指導の充実を図る」「子どもの学習意欲が高まる授業づくりを工夫する」「防災・防犯教育を充実し、安心安全な学校づくりを推進」などが上位に挙げられています。

これらの点から、児童生徒等の安心・安全を確保するための取組みの充実、いじめの未然防止と早期発見の取組みの徹底、子どもたちが主体的に学習に取り組む態度を身につけられる教育内容・方法の充実等が求められていると考えられます。

### (2) 家庭での教育について

家庭の教育力(家庭で、親が子に対して行う教育)に対する評価としては、機能している(「機能している」と「ある程度は機能している」の合計)を回答した人が、機能していない(「あまり機能していない」と「機能していない」の合計)を回答した人を上回っています。

このような家庭の教育力を高めるために必要な取組みとして、「保護者がしつけや教育について相談できる場所をつくる」や「保護者が子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ」「子どもが保護者以外の大人(祖父母、近所の人)とふれあう機会を増やす」「子どもが保護者と一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」などが上位に挙げられています。

これらの点から、親の教育力を高めるための学びの場の確保や相談体制の充実、親と子のふれあいと交流の場づくりが求められていると考えられます。

### (3) 地域での教育について

地域の教育力（地域社会の中で子どもたちが大人や異なる年齢の友人たちとの交流を通じた様々な体験などができる教育機能のこと）に対する評価としては、機能している（「機能している」と「ある程度は機能している」の合計）を回答した人は、機能していない（「あまり機能していない」と「機能していない」の合計）を回答した人を大きく下回っています。本市において、地域の教育力の向上が喫緊の課題であることがうかがえます。

このような地域の教育力を高めるために必要な取り組みとして、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツをしたりできる機会をつくる」や「治安を良くし、子どもが自由に遊べるようにする」「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」などが上位に挙げられています。

これらの点から、異なる年齢の子どもや異なる世代の地域の人々とのかかわりの中で、様々な体験・経験の機会を提供するとともに、子どもの安全を確保しつつ、地域の大人などの力を集結して子どもを育てる環境を整備することが求められていると考えられます。

### (4) 生涯学習・文化・スポーツなどの活動について

生涯学習・文化・スポーツなどの活動に対する今後の活動意向で最も高いものは「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など）」となっており、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、陶芸など）」「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」がつづいています。また、この1年間の生涯学習・文化・スポーツなどの活動で最も参加割合が高かった活動についても、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、ウォーキング、水泳など）」が最も多くなっていますが、今後の活動意向に比べて低い状況です。このことから、本市において、生涯学習・文化・スポーツなどの活動についてのニーズはあるものの、実際の活動につながっていない実態があります。

一方、本市の生涯学習・文化・スポーツなどの活動における取り組みの評価としては、「健康づくりやスポーツを楽しむ機会が充実している」が最も多く、「図書館のサービスが充実している」、「松原市の生涯学習・文化・スポーツ環境は充実している」がつづいています。

また、本市の生涯学習・文化・スポーツの活動をより充実させていくために必要な取り組みとして、「コンサートや演劇、スポーツイベントなどの機会の充実」が最も多く、「文化・芸術・スポーツを気軽に学べる教室の開催」「文化・芸術・スポーツ施設や設備の充実」がつづいています。

これらの点から、参加への意欲を実際の活動につなげていくためのきっかけづくりや、気軽に参加できる機会づくりや施設等の環境整備が求められていると考えられます。